

令和3年6月8日

市政記者各位

福岡市美術館

間もなく市民の皆様にお披露目です！！

美術館の新たなシンボルとなる大型屋外彫刻作品の設置作業開始！！

福岡市制施行130周年および開館40周年を記念して福岡市美術館に設置される、インカ・ショニバレCBE氏による大型屋外彫刻作品《ウィンド・スカルプチャー（SG）II》が英国での制作を完了し、福岡市美術館に到着、7月の公開に向け、設置作業が始まりました。つきましては作品の設置、完成記念式典の広報へのご協力、ご取材をお願いいたします。

作品について

- ・ 作品題名：《ウィンド・スカルプチャー（SG）II》
（よみ：ウィンド・スカルプチャー（エスジー）・ツー）
- ・ 作家：インカ・ショニバレCBE
- ・ 大きさ：7m（高さ）×2.5m（幅）×2m（奥行）
- ・ 素材：ガラス強化ポリエステル樹脂、アクリル塗料、鋼

福岡市美術館が所蔵するアフリカンプリントの柄をベースにデザインされています。風を受け、はためく船の帆をモチーフに交流や多様性を表現しています。その姿は古くから交流により発展し、多様性を受け入れながら成長してきた福岡市が次のステージへ向けて前進するイメージと重なります。美術館のシンボルとして、福岡市の新たな顔としてふさわしいものです。



インカ・ショニバレCBE 大型屋外彫刻作品
《ウィンド・スカルプチャー（SG）II》
（設置イメージ）

作家について

1962年英国生まれ。ナイジェリアにルーツを持つ英国在住の現代美術作家。アフリカンプリントやその柄を用い、文化の多様性に注目した作品を制作。

2019年に大英帝国勲章三等爵位（CBE）を受爵。

同年3月には福岡市美術館リニューアルオープン記念展として日本初個展を開催。



Courtesy the artist and Royal Academy of Arts, London.
Photographed by Marcus Leith, 2014.

完成記念式典

- ・ 日時：令和3年7月1日（木）午前9時～午前9時30分
- ・ 会場：福岡市美術館 アプローチ広場

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館 学芸課（担当：山口、正路、岩永） 事業管理課（担当：金子）

電話番号（美術館代表）：092-714-6051

- ◆ 《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》の設置にあたり、福岡市長 高島宗一郎とインカ・ショニバレ CBE の連名で下記のステートメントを作品とともに掲示します。

福岡市は古来、交流によって発展してきました。その交流は、安曇族や金印、鴻臚館、博多商人、近年ではクルーズ船と手段は変化しても、時代と共にアップデートされ、多様性を受け入れながら、都市として成長し続け、2019年、市制施行130周年を迎えました。

1979年に開館した福岡市美術館は、40年の時を経て、より開かれた美術館を目指して、多様性を受け入れながら、アートを通しての交流を生み出すために、2019年にリニューアルを行いました。交流と多様性を通じて、次のステップへと成長して行く。それが福岡市美術館の目指す FUKUOKA NEXT です。

古来、交流を象徴するのは、船です。インカ・ショニバレ CBE の《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》は、この交流や多様性を表現しています。布が風にはためく形は、風を読み、風を受け、帆を張って、福岡市が次のステージへ向けて前進するイメージと重なります。

福岡市は、市制施行130周年を記念してこの作品を設置します。この作品が市民や福岡市を訪れるすべての皆様に愛される、「福岡市の顔」となることを願っています。

2021年7月 福岡市長 高島宗一郎
インカ・ショニバレ CBE

令和3年6月8日版

福岡市美術館

インカ・シヨニバレ CBE

ウィンド・スカルプチャー (SG) II

プレスリリース



①インカ・シヨニバレ CBE 《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》設置イメージ

福岡市制施行 130 周年および開館 40 周年を記念して福岡市美術館に設置される、インカ・シヨニバレ CBE による大型屋外彫刻作品《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》。このたび英国での制作を完了し、福岡市美術館に到着、7 月の公開に向け、福岡市美術館のアプローチ広場にて設置作業が始まりました。また、下記の日程で完成記念式典を開催します。作品の完成・設置、完成記念式典の広報へのご協力、取材をお願いいたします。

作品名

Wind Sculpture (SG) II

ウィンド・スカルプチャー (SG) II

(よみ：ウィンド・スカルプチャー (エスジー)・ツー)

作者

Yinka Shonibare CBE

インカ・シヨニバレ CBE



1962 年英国生まれ。

ナイジェリアにルーツを持つ英国在住の現代美術作家。

②インカ・シヨニバレ CBE
Courtesy the artist and Royal Academy of Arts,
London. Photographed by Marcus Leith, 2014.

サイズ

高さ 7m × 幅 2.5m × 奥行 2m

素材

ガラス強化ポリエステル樹脂、アクリル塗料、鋼

完成記念式典

日時：令和 3 年 7 月 1 日 (木) 午前 9 時～9 時 30 分

場所：福岡市美術館アプローチ広場

問い合わせ先

福岡市美術館

学芸課 (担当：山口、正路、岩永)、事業管理課 (担当：金子)

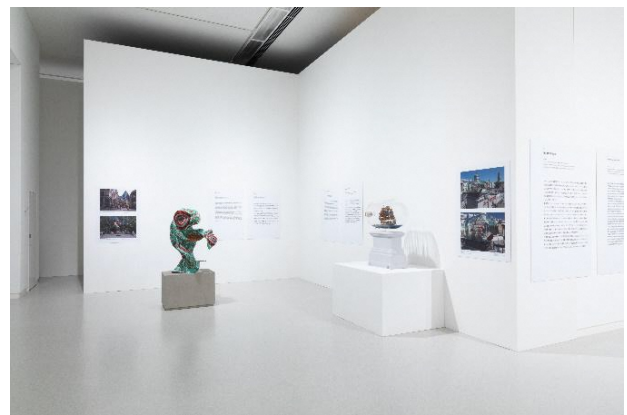
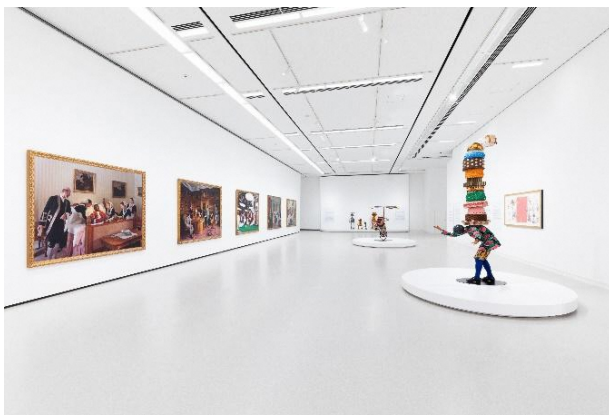
電話番号 092-714-6051

◆インカ・ショニバレ CBE プロフィール

1962年英国に生まれる。3歳からナイジェリア・ラゴスに暮らし、17歳でロンドンに戻り、バイアム・ショウ・スクールで美術を、ゴールドスミス・カレッジ修士課程で芸術学や哲学を学ぶ。1997年「センセーション」展（ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ）に出品し、ヤング・ブリティッシュ・アーティストの1人として注目を集める。2002年ドクメンタ11参加、2004年ターナー賞ノミネート。2001、2007、2016年ヴェネチアビエンナーレ参加。2005年大英帝国勲章第五等爵士（MBE）、2019年に同三等爵士（CBE）を受爵。ポストコロニアルとフェミニズムの思想にもとづき、いわゆる「アフリカンプリント」と呼ばれる布を用いて、植民地主義時代以降連綿とつづく社会の構造に対し、鮮やかに切り込む作品を制作する。2019年、福岡市美術館のリニューアルオープン展として、日本初となる個展「インカ・ショニバレ CBE : Flower Power」（2019年3月21日～5月26日）を開催。



③ 《桜を放つ女性》とインカ・ショニバレ CBE
 撮影：山中慎太郎（Qsyum!）



④ ⑤
 ⑥

「インカ・ショニバレ CBE : Flower Power」（2019年）展示風景
 撮影：山中慎太郎（Qsyum!）



◆《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》について

1) ウィンド・スカルプチャーとは？

風の彫刻という名の通り、布が風を受ける瞬間をとらえた形。ウィンド・スカルプチャー制作のきっかけとなったのは、ショニバレが制作し2010年に公開された屋外彫刻作品《瓶の中のネルソンの船》でした（現在はロンドンの国立海洋博物館前に設置）。瓶の中の船の帆として「アフリカンプリント」を使ったことから、ウィンド・スカルプチャーのアイデアが生まれたのです。

複雑に波打つしなやかな布の形状は、ショニバレが実際に布に風を当てて得た形がもとになっています。布を直立させることは不可能ですが、布の軽やかな形状を工業素材で作ることで、重力に逆らうかのような彫刻が実現しています。やわらかさと強さを兼ね備えた、しなやかで強靱な力を持つ形です。

2) ショニバレ作品と「アフリカンプリント」

インカ・ショニバレは、「アフリカンプリント」と呼ばれる布を作品に使用することで知られるアーティストです。「アフリカンプリント」とは、アフリカで現在も服地に用いられているプリント綿布のこと。原色を中心とする鮮烈な色づかいや奇抜で大きな柄行きが特徴で、近年、ファッションの分野からも世界的な注目を集めています。

「アフリカンプリント」はその通称のとおり、アフリカ的なものとして認知されてきました。しかしこの布はアフリカ発祥ではありません。植民地への輸出用としてインドネシアのバティックを模倣したプリント布を製造していたオランダが、その輸出先をアフリカに変えたことに端を発しているのです。ヨーロッパで製造されたこの布は、アフリカにもたらされ、アフリカの人々の好みに合わせデザインを少しずつ変えながら、現在の「アフリカンプリント」になったのです。

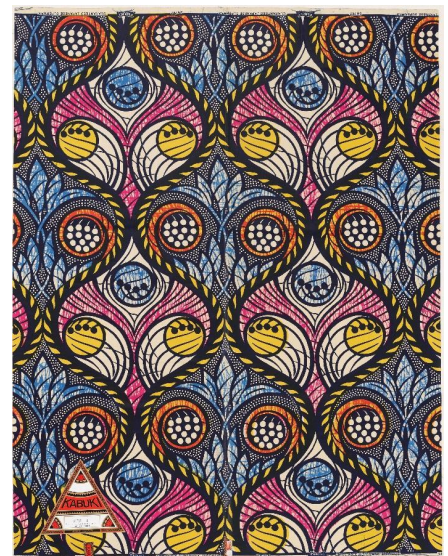
自身のルーツでもあるアフリカを象徴するものと見なされてきた布が、複雑で多様な文化の混交によって生まれていることを知ったショニバレは、以来この布を積極的に作品に用いるようになりました。ウィンド・スカルプチャーの柄も、「アフリカンプリント」の柄からとられています。

3) 《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》と福岡市美術館

ウィンド・スカルプチャーの最初のシリーズは、様々な色と柄の8体が制作されました。2018年には、布のはためく様子をさらに複雑な形で表し、スケールアップしたウィンド・スカルプチャー (SG) が発表されました。SGは第2世代 (Second Generation) の略で、当館に設置されるのはSGの2作目です。

《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》の制作にあたり、ショニバレはその柄に、当館が所蔵する「アフリカンプリント」を選びました。日本製の「アフリカンプリント」の柄が作品に用いられるのは、初めてのことです。この布は、1928年から1990年代までアフリカにプリント綿布を製造・輸出していた総合商社・西澤株式会社に取り扱っていたものです。長くアジアの染織を研究・収集してきた当館は、2014年に特別展「更紗の時代」を開催し、インド更紗の系譜に「アフリカンプリント」を位置づけ、オランダ製やアフリカ製、日本製のプリント綿布を展示しました。現在当館は、西澤株式会社より寄贈された日本製「アフリカンプリント」を28点 (79種) 所蔵しています。

日本製の「アフリカンプリント」柄がペイントされた《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》は、日本とアジア、ヨーロッパ、アフリカをつなぎながら、海を渡る多文化交流の歴史とこれからの指し示します。



⑦西澤株式会社デザイン、山陽染工株式会社製造
 《植物文様スーパーワックスプリント》1993年
 福岡市美術館蔵

◆ 《ウィンド・スカルプチャー（SG）II》の設置にあたり、福岡市長高島宗一郎とインカ・シヨニバレ CBE の連名で下記のステートメントを作品とともに掲示します。

福岡市は古来、交流によって発展してきました。その交流は、安曇族や金印、鴻臚館、博多商人、近年ではクルーズ船と手段は変化しても、時代と共にアップデートされ、多様性を受け入れながら、都市として成長し続け、2019年、市制施行130周年を迎えました。

1979年に開館した福岡市美術館は、40年の時を経て、より開かれた美術館を目指して、多様性を受け入れながら、アートを通しての交流を生み出すために、2019年にリニューアルを行いました。交流と多様性を通じて、次のステップへと成長して行く。それが福岡市美術館の目指すFUKUOKA NEXTです。

古来、交流を象徴するのは、船です。インカ・シヨニバレ CBE の《ウィンド・スカルプチャー（SG）II》は、この交流や多様性を表現しています。布が風にはためく形は、風を読み、風を受け、帆を張って、福岡市が次のステージへ向けて前進するイメージと重なります。

福岡市は、市制施行130周年を記念してこの作品を設置します。この作品が市民や福岡市を訪れるすべての皆様に愛される、「福岡市の顔」となることを願っています。

2021年7月 福岡市長 高島宗一郎
インカ・シヨニバレ CBE

●広報用画像データ申込書●

本プレスリリースに掲載している画像は、広報用データをご用意しています。ご希望の際は、以下にご記入の上、FAXもしくはE-mailでお申込みください。

申込先

福岡市美術館 広報・運営グループ (〒810-0051 福岡市中央区大濠公園 1-6)
 (福岡アートミュージアムパートナーズ(株) 委託: 西日本新聞イベントサービス)
 TEL: 092-714-6051 (代表) FAX: 092-714-6071
 E-mail: shibi-unei@nishinippon-event.co.jp

- ・下記リストからご希望の画像にチェックをつけてください。
- ・本展広報目的での使用に限ります。
- ・画像の使用時には、指定するキャプション・クレジットを必ず記載ください。
- ・複数点掲載の場合、重複する情報は省略可能な場合がございます。掲載前に広報事務局宛に校正紙をお送りください。
- ・作品画像は良識の範囲内でトリミングいただけます。ただし必ず校正紙の確認を行い、許可を得たものを掲載ください。
- ・ご使用後はデータを廃棄するとともに、掲載誌または同録DVDを当館宛に2部ご送付ください。

| 希望 | 作品 No. | 画像キャプション・クレジット |
|--------------------------|--------|--|
| <input type="checkbox"/> | ① | インカ・ショニバレ CBE 《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》設置イメージ |
| <input type="checkbox"/> | ② | インカ・ショニバレ CBE Courtesy the artist and Royal Academy of Arts, London. Photographed by Marcus Leith, 2014. |
| <input type="checkbox"/> | ③ | 「インカ・ショニバレ CBE: Flower Power」展オープニングに来福したインカ・ショニバレ CBE 撮影: 山中慎太郎 (Qsyum!) |
| <input type="checkbox"/> | ④ | 「インカ・ショニバレ CBE: Flower Power」(2019年)の展示風景 撮影: 山中慎太郎 (Qsyum!) |
| <input type="checkbox"/> | ⑤ | 「インカ・ショニバレ CBE: Flower Power」(2019年)の展示風景 撮影: 山中慎太郎 (Qsyum!) |
| <input type="checkbox"/> | ⑥ | 「インカ・ショニバレ CBE: Flower Power」(2019年)の展示風景 撮影: 山中慎太郎 (Qsyum!) |
| <input type="checkbox"/> | ⑦ | 西澤株式会社デザイン、山陽染工株式会社製造《植物文様スーパーワックスプリント》1993年、福岡市美術館蔵 |

| | | | |
|----------------|-----------------------------|-----|--|
| ご住所 | 〒 | | |
| 貴社名 | ご所属 | | |
| ご担当者名 | | | |
| TEL/FAX | TEL | FAX | |
| E-mail | | | |
| 貴媒体名 | (発行部数 部) | | |
| 掲載号 発売予定日 | 月号/月日号 (月 日発売) | | |
| 素材締切日 最終校了日 | 素材締切日 (月 日) / 最終校了日 (月 日) | | |